

2010年2月18日 - 2010年7月24日

2009年8月1日 - 2010年2月18日

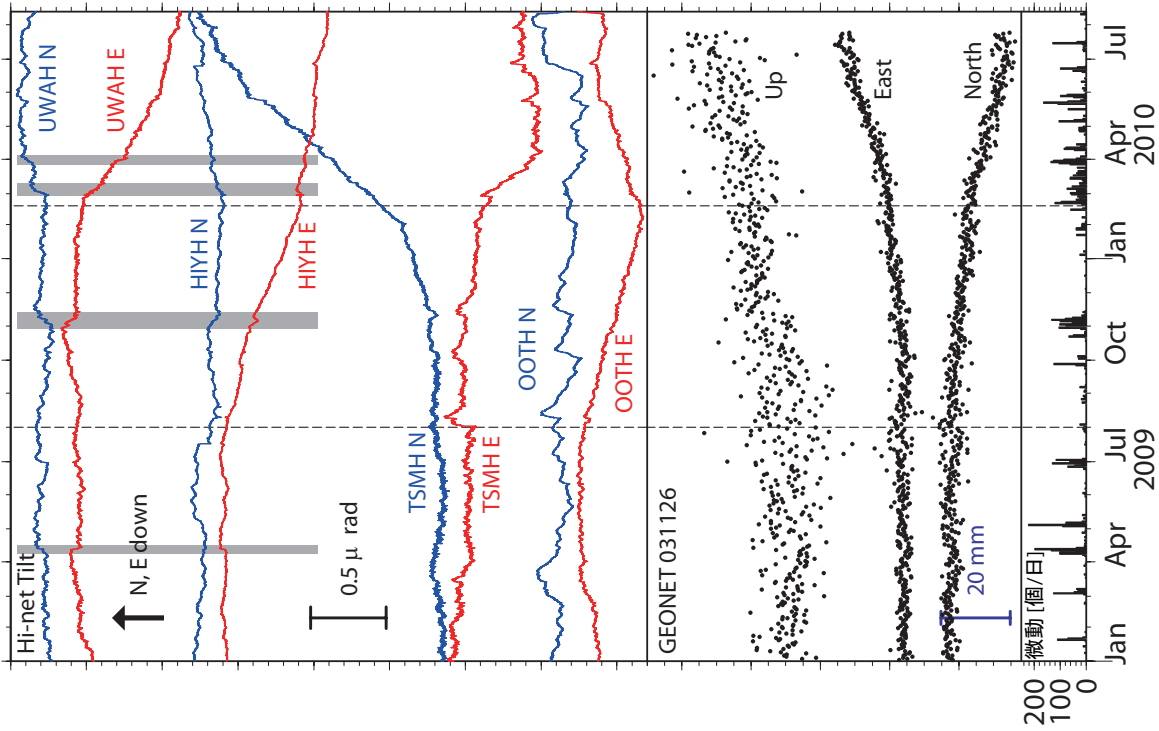
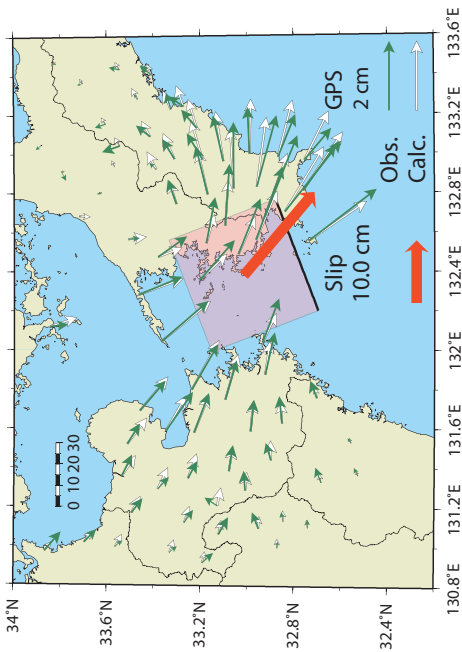
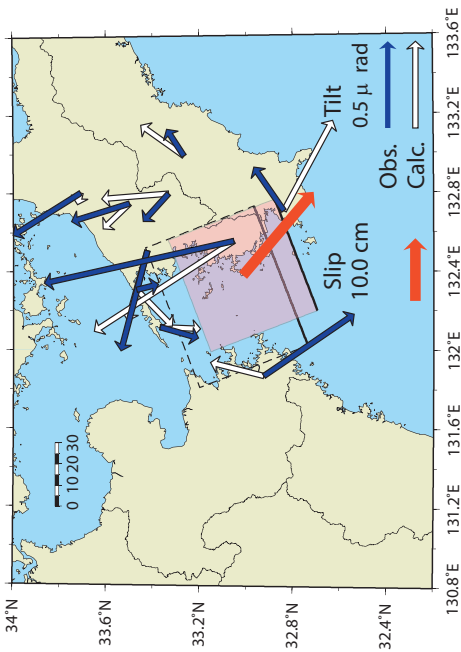
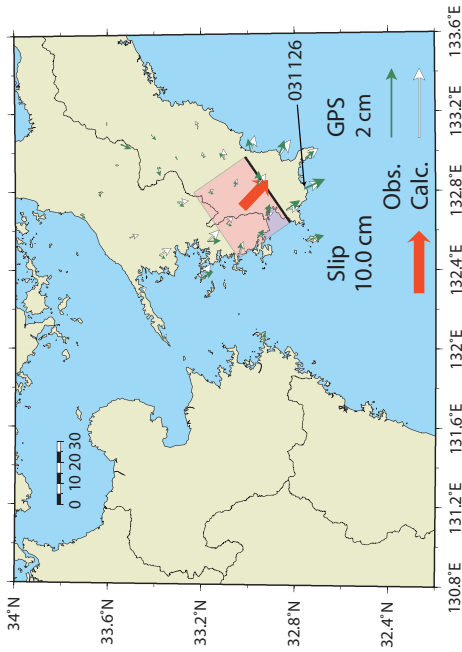
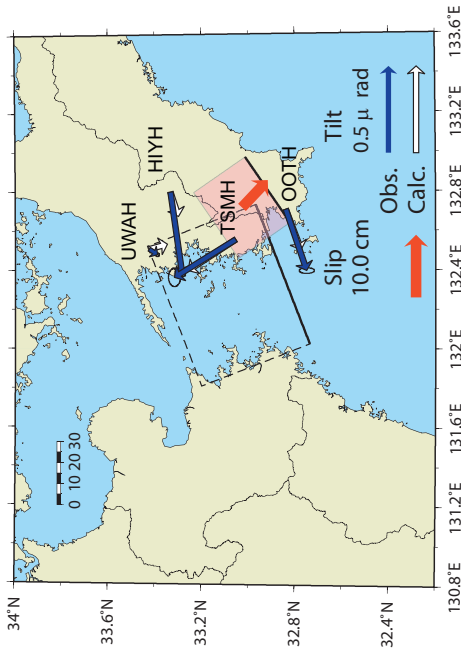


図1: 2009年1月から2010年8月までの傾斜・GPS・微動活動の時系列データ (潮汐成分・リニアトレンド除去)。観測点の位置は図2の中に示した。傾斜データは上方への変化が北・東下がり傾斜変動を表す。GPSは上対馬に対する土佐清水3の変位を示す。GPS記録は2007-2009年の2年間、傾斜記録は2009年4-8月の4か月を定常的な変動と仮定してトレンドを除いた。傾斜データで影をつけた期間は四国西部の短期的SSEを示す。



緯度 経度 上端深さ 長さ 幅 走向 傾斜 ずれ角 ずれ量 モーメント M_w
 32.88 132.77 34 km 57 km 56 km 249° 12° 1.18° 17.6 cm 2.2e19 Nm 6.8

図3: 期間(2)の推定断層モデル。(1)と(2)の通算は M_0 2.5×10^{19} Nm (M_w 6.9)。



緯度 経度 上端深さ 長さ 幅 走向 傾斜 ずれ角 ずれ量 モーメント M_w
 33.02 132.97 27 km 38 km 30 km 236° 6° 102° 6.0 cm 2.7e18 Nm 6.2

図2: 期間(1)の推定断層モデル(赤矩形・矢印)、観測された傾斜変化ベクトル(青矢印, 上図)、水平変位ベクトル(緑矢印, 下図)、およびモデルからの計算値(白抜き矢印)。なおモデルの推定には上下変位も使用している。点線の四角は2003年の長期的SSEの断層位置を示す (slip 10.9 cm; M_0 1.7×10^{19} Nm; M_w 6.8)。

謝辞

国土地理院のGPSデータを使用させていただきました。記して感謝いたします。